

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	国際連合国際防災戦略事務局 (UNISDR) 拠出金 (任意拠出金)	担当部局庁	国際協力局	作成責任者				
事業開始・ 終了(予定) 年度	平成16年度開始	担当課室	緊急・人道支援課	課長 青木 豊				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅶ－3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る 国際貢献					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第3項	関係する計画、 通知等	第54回国連総会決議(A/RES/54/219) 第54回国連総会決議54/219(2000年) 第56回国連総会決議56/195(2002年)					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	UNISDRは、唯一の防災に特化した国際機関であり、国際防災協力を推進している。具体的には、グローバルな防災戦略である「兵庫行動枠組2005-2015」を実施し、フォローアップを行う中心的役割を担っている。我が国は、防災大国としての経験・知見を活かし、国際防災協力を積極的に進めていることから、同事務局の活動を支援している。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	UNISDRを通じて、主に途上国における災害被害の軽減を、以下の活動を通じて実施する。 1 兵庫行動枠組2005-2015のフォローアップ 2 各国政府、国際機関、地方自治体、防災センター、有識者等の協調・連携強化 3 防災に係わる知識・情報の共有 4 気候変動適応策としての防災対策強化							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	88	79	69	67	66	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
	計		88	79	69	67		
	執行額		88	79	69			
執行率(%)		100	100	100				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	兵庫行動枠組の推進(国家レベルで防災調整メカニズムを設置した国数) (注)機関全体の目標及び実績		成果実績	国	64	73	81	193
			達成度	%	33%	38%	42%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①国際防災会議の開催(隔年) ②国連世界防災白書の作成(隔年) ③都市防災キャンペーン等の実施 (注)機関全体の指標及び実績		活動実績 (当初見込み)	①国 ②国 ③機関 ／都市	①152ヶ国 ②62ヶ国 ③80,000機関	①- ②- ③160都市	①168ヶ国 ②113ヶ国 ③718都市	— ()
単位当たり コスト	2.8百万ドル／国		算出根拠	2010年のUNISDR総事業費(25百万ドル)÷(9ヶ国(2009年から2010年にかけて防災調整メカニズムを設置した国数))=(2.8百万ドル)				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	国際連合国際防災戦略事務局(UNISDR)拠出金	67	66					
	計	67	66					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	防災分野の国際協力は、近年我が国をはじめ多数の国で大規模自然災害が多発する中、国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きき場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	UNISDRは国際防災協力を推進する唯一の国際機関であり、支出先として妥当。その事業では、途上国をはじめとする多数の国において防災調整メカニズムの設置を支援しており、これは災害被害の軽減という目的に照らし真に必要な事業である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	UNISDRは、2015年までの国際防災戦略として「兵庫行動枠組」を策定し、右戦略に照らした2年毎の事業計画を作成しており、適切な成果目標のもと達成度を着実に向上させている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	ドナー会合の場を通じて、引き続き効率的な事業の実施を求めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		拠出額減額	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	119	平成23年行政事業レビュー	119